

成人市中肺炎の重症度別患者数等

	患者数	平均在院日数	平均年齢
軽症	—	—	—
中等症	35	19.06	85.80
重症	—	—	—
超重症	—	—	—

【説明】

市中肺炎とは、普段の社会生活の中でかかる肺炎のことです。

A-DROPスコアを用いて、重症度を分類しています。

<A-DROPスコア>

下記5つのチェック項目に該当した項目を、1項目1点としてカウントします。

点数が高いほど、重症度が高くなります。

A（年齢）：男性70歳以上 女性75歳以上

D（脱水）：BUN(尿素窒素) 21mg/dL以上、または脱水あり

R（呼吸）：SpO₂（酸素飽和度）90%以下（PaO₂（動脈血酸素分圧）60Torr以下）

O（見当識）：意識障害あり

P（血圧）：収縮期血圧 90mmHg以下

【解説】

令和5年度は中等度の症例が多くありました。前年と比較して、全体の症例数は増加しています。

中等症の患者さんは、平均年齢が80歳を超えています。